

# 上田市【長野県】 歴史文化基本構想

■策定年度：平成31年3月 ■人口：157,870人 ■市域面積：552km<sup>2</sup>  
■担当課：上田市教育委員会生涯学習・文化財課（平成31年3月現在）



上田市は、古くから東山道等の主要道が通り、古代には国分寺が置かれ、中世には「信州の学海」と呼ばれるほどの仏教文化の発展や真田氏の活躍、近世末から近代にかけては蚕糸業による繁栄など、歴史上の表舞台に出ることの多い都市である。それに伴う数々の文化財やそれを背景とした人々の気質を一体的に捉え、まちづくりに活かしていくための構想である。

## 5 歴史文化を表す つのキーワード

仏教文化財、少雨、城郭、  
蚕都上田、リゾート開発

### 課題

- ・文化財の守り手・担い手の不足
- ・文化財周辺環境の保全
- ・情報発信

### 保存活用方針

- ・公民館活動等での文化財関連事業の推進
- ・文化財アーカイブ機能の充実
- ・市民団体等との協働

## 保存活用のための取り組み

### 市内9地域を核とした文化財保存・活用体制づくり

上田市では「地域内分権」という考えのもと、9つの協議会が設置され、地域ごとに地域課題の解消や地域づくりを進めている。文化財の保存・活用においても、この仕組みと連携し、指定・未指定の文化財を地域の核としたまちづくりを進めていく。



### 「文化財マップ」の充実

現在の文化財マップは屋外にある見学可能な建造物・記念物のみを対象としているが、美術工芸品や民俗文化財も、所有者の同意を得ながら順次公開していく。



### 観光資源としての活用

周辺環境も含めた文化財や関連文化財群を基に観光協会やフィルムコミッションと連携し、滞在型の観光パッケージの設定や映画等の口ケ地としての発信を行う。



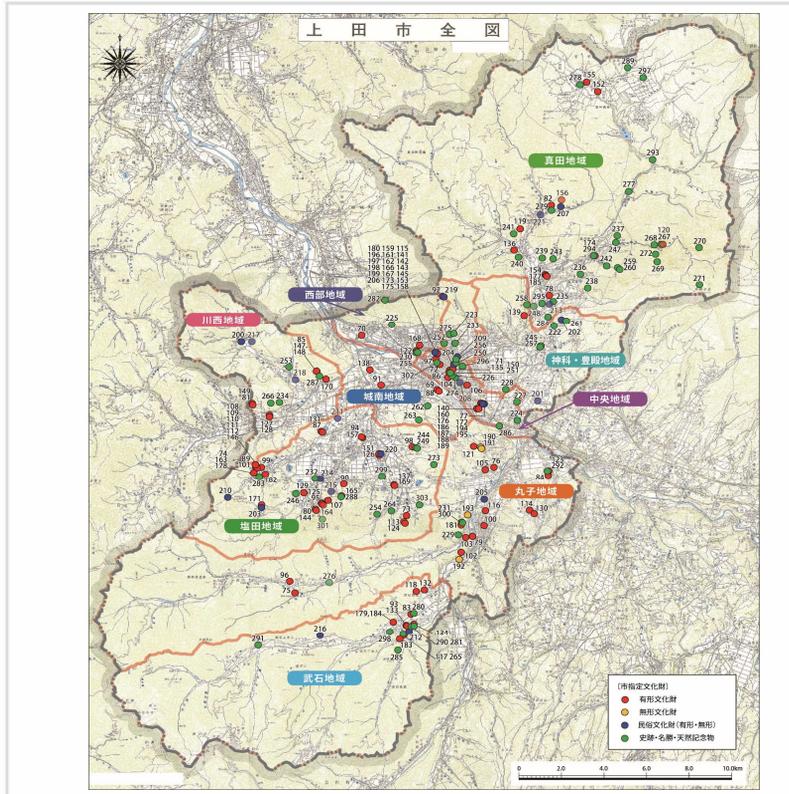
### 文化財保護指導委員の配置

文化財の巡視や所有者等への助言等を行う「文化財保護指導委員」を新たに配置し、文化財の日常的な管理の支援や防犯・防災対策等を行う人材の充実に図る。





## 関連文化財群



現在の上田市を形成する歴史的要素として挙げられるものを6つのテーマにまとめ、関連文化財群とした。東山道などの街道筋という立地によってもたらされたものや、少雨地域という気候によるもの、真田氏の活躍などの歴史的事象によって特徴づけられるものなど、バリエーションに富んだストーリーとなっている。

### ストーリー

- ① 信濃国分寺と仏教文化財
- ② 水と信仰の農業開発文化財
- ③ 真田氏の活躍と城郭文化財
- ④ 城下町と街道筋の文化財
- ⑤ 蚕都上田の文化財
- ⑥ 近代の保養・観光開発の文化財



## 策定後の成果 (見込まれる効果)

- ① 文化財を守り活用する体制
- 現在組織されている市内9地域の協議会単位において、文化財を守り伝え、活用していく体制づくりを進めていく。併せて文化財保護指導委員の配置も進め、日常管理の支援や防犯・防災対策を進めていく。



- ② 文化財を学ぶ機会の創出
- 指定文化財を可能な限りインターネット上で知ることができるよう環境を作ることにより気軽に地域の文化財を知る機会を増やす。併せて公民館活動においても積極的に文化財を取り上げるための働きかけを行うことにより興味のある文化財について学ぶ機会を創出していく。



- ③ 地域活性化・観光資源での活用
- 関連文化財群などを基に、指定・未指定に関わらず、周辺環境も含めて観光資源として発信していくことにより、今まで知られていなかった地域の魅力に光を当てていく。それにより地域でもそれを核としたまちづくりに対する機運が高まり、地域活性化につなげていく。

